

自然は友だち うら谷津市民農園開園準備プロジェクト

ボランティア

地域交流

[代表者] 農学部地域環境科学科 3 年 志村 緑

[連携先]

うら谷津市民農園参加者

[参加者]

竹崎 善政（農学研究科・M1）
 元尾 一聖（農学部・4 年）
 志村 緑（農学部・3 年）
 我如古 由佳（農学部・2 年）
 岸部 和朗（農学部・2 年）
 他 うら谷津サークルメンバー 20 名

[プロジェクトの成果]

私たちは農学部のある阿見町の耕作放棄地再生に取り組むボランティアグループ『うら谷津サークル』です。私たちの活動のフィールドであるうら谷津には、農地が 4ha、山林が 10ha、合計 16ha のフィールドがあります。しかし約 30 年前から耕作放棄されており、阿見町の谷津田に見られるように現在はほぼすべてが耕作放棄されていました。

私たちは地元農家らによって組織されたうら谷津再生委員会の一員として、16 年度は 1 枚、17 年度は 2 枚の田んぼを復田しました。また畑も拓き野菜をはじめソバや小麦など畑を栽培し学生自身の自給に役立てています。この 2 年間の活動の蓄積を背景に地域の住民の方にも自給用の家庭菜園を広めていきたいと考え、耕作放棄地を再生させ市民農園を開設することにしました。今年 4 月の開園にむけて以下のような準備作業を実行しました。

① 市民農園予定地における 3 人の地権者の協力を得ることができました。

② 新しい法律にもとづいて、さらに阿見町ではじめての試みとなる市民農園開設の申請を地方公共団体にしました。

③ 地域住民にむけての市民農園参加の募集をしました（ポスター配布、チラシ作成・配布、地元地区の回覧板を利用した案内）。それにより、現在 6 夫婦合計 12 名の参加がありました。

④ 参加者と学生を対象にうら谷津の環境に適した栽培法を学ぶための『うら谷津野菜づくり教室』と題した勉強会を地域農家、大学教職員を講師として招き、4 回開催しました。

⑤ 今年 4 月に向けた開園準備作業（開墾、草刈、圃場整備、堆肥づくりなど）をしました。このことにより、4 月から市民農園開設の準備が整いました。

⑥ 来たる 3 月に入ってから苗作りなどの具体的な栽培計画を立てました。（行事予定：畑の整備・区画整備・継続的した参加者の募集）また来年度も開園活動にあたり「学生地域参画プロジェクト」に継続して支援申請をする予定です。